

平成 26 年 9 月 29 日

**広島市北部大規模土砂災害に係る本学の対応について**

【地域中核機能】

8月20日未明、広島市北部で発生した大規模土砂災害により被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っています。

本学では、災害対策室本部を9月1日（月）に設置し、下記のとおり広島県や広島市と連携して、可能な限り被災地の支援に取り組んでまいります。

## 記

## ■本学の支援状況（9月25日現在）

## 1. 医療活動支援関係

- (1) 患者受け入れ（高度救命救急センター）  
平成26年8月20日（水） 受入 5人
- (2) 広島県からの要請によるDMAT（災害派遣医療チーム）の派遣  
平成26年8月20日（水）、21日（木） 延べ 11人
- (3) 広島県看護協会からの要請による災害支援ナース（看護師）の派遣  
平成26年8月23日（土）～ 延べ 11人
- (4) 広島県の要請によるDPAT（災害派遣精神医療チーム）の派遣  
平成26年9月3日（水）～ 延べ 2人
- (5) 広島県子ども支援チームへの派遣  
被災した子どもの心のケア実施、教育学研究科心理学講座の3人が登録
- (6) 広島県災害時公衆衛生チームへの派遣  
\* 平成26年8月29日（金）～ 薬剤師 1人  
\* 広島県理学療法士会からの要請により、理学療法士2人が登録（ボランティア）
- (7) 広島市等からの要請によるDVT（深部静脈血栓症）のスクリーニング検査実施  
平成26年8月27日（水）～ 延べ 19人

## 2. その他

- (1) 学生ボランティアの派遣  
平成26年8月24日（日）～ 延べ 1,000人以上
- (2) 義援金の募金活動  
平成26年8月22日（金）～ （今月末）
- (3) 広島市災害対策本部、現地対策本部、現地の視察等  
平成26年8月26日（火） 復興担当副学長など 3人
- (4) 教職員のボランティア参加  
平成26年8月27日（水）～ 延べ 23人

- (5) 砂防学会広島土砂災害緊急調査団（第一次）への派遣  
平成26年8月23日（土）、24日（日） 調査団長 1人
- (6) 自衛隊・消防・広島県警・日本救助犬協会からの依頼による防災科学技術研究所の空撮及び地図との重ね合わせ作業への支援  
平成26年8月24日（日）、25日（月） 1人
- (7) 土木学会・地盤工学会合同緊急調査団への派遣  
平成26年8月27日（水） 調査団長を含む 12人
- (8) 広島県庁砂防課、国土交通省太田川河川事務所、広島市消防局等との打合せ・現地調査等  
平成26年8月20日（水）～ 1名（随時）
- (9) 砂防学会・土木学会・地盤工学会合同緊急調査団への派遣  
平成26年8月30日（土）、31日（日） 調査団長を含む 2人
- (10) 教育・心理相談（無料）の実施  
平成26年9月9日（火）～ 被災者（幼児・児童・生徒と保護者・教師）の教育・心理相談を無料で行うこととし、ホームページにも掲載
- (11) 広島文教女子大学への備蓄品の提供  
平成26年9月10日（水） サージカルマスク（1,000枚入）  
10箱
- (12) 広島市の初動対応を検証する検証部会への派遣  
平成26年9月11日（木） 座長を含む 2人

## ■今後の予定

- (1) 被災者支援ボランティア活動の充実  
\* 夏休み明けの10月から、特に平日の学生ボランティアの確保が困難となることから、教職員に参加の呼び掛けを行っている。状況によっては、職務扱いで派遣
- (2) 職員宿舎の提供  
\* 職員宿舎（吉島（十数戸）、ががら（十数戸）、御幸（2戸））の提供について、広島市へ申出中。
- (3) 要請があった場合の砂防・防災等の専門家の助言・派遣
- (4) 子どもの学び支援（ボランティア）  
\* 教育学研究科（附属教育実践総合センター）の「にこにこルーム」の活動の一環として、広島市教育委員会と連携の上、教員の指導の下、子どもの学習面・心理面の支援活動を行う学生を被災地域の学校へ派遣（現在協議中）
- (5) 日本学校心理士会「子ども・学校支援チーム」派遣の取りまとめ  
\* 教育学研究科（附属教育実践総合センター）が、学校心理士の派遣取りまとめる。学校心理士は、被災した学校、避難所となっている学校の校内での子ども達の様子の確認や学校（教職員）のニーズアセスメントを行い、心理教育的援助サービスを提供（現在広島市教育委員会と協議中）

### 【お問い合わせ先】

広島大学 災害対策室 TEL：082-424-6012
--------------------------------